

はしか

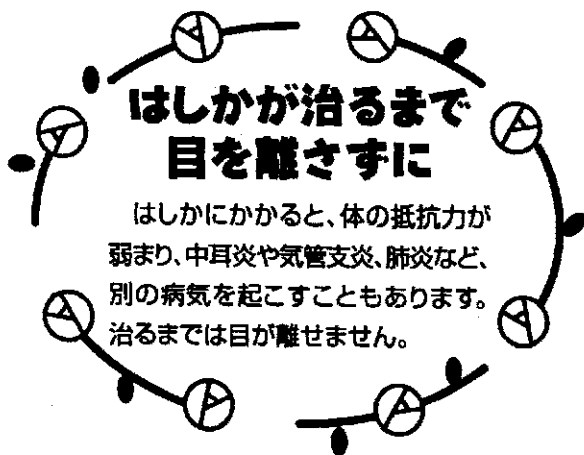
(麻疹)

主な症状

はじめの2~3日は、熱・くしゃみ・せき・鼻水・目やになど風邪のような症状が出ます。いったん熱が下がりますが、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が現われます。ほおの内側に白く斑点(コプリック斑)ができます。高熱は、4~5日くらい続き、せき・鼻水・口内炎・目の充血は、さらにひどくなります。

家庭で気をつけること

- ① 高い熱の時——肩を冷やさないように注意し、氷枕などで心地よい状態にしてあげましょう。39℃以上あって極度の悪い時には、熱さましの座薬を使われてもいいです。
- ② 強いせき——せきがひどいため体力を消耗し、気管支炎から肺炎をおこしやすいので、せきを止めるため、せき止めを処方します。
- ③ 食べ物——食欲がなくなりますが、水分は十分に補給しましょう。食べれる時は、消化のよい、口当たりのよいものの方がいいですね。
- ④ お風呂——せきも少なくなると、熱がなければ入浴してもよいでしょう。
- ⑤ その他——部屋の温度調節や換気も忘れずにしましょう。



はしかは、合併症を起しやすい病気です。
ご心配な点や
わからないこと
がありましたら
ご連絡なく
おたずね下さい。



はしかは、伝染力がとても強く、かかっている人と接触すると、まず発症します。(潜伏期間: 10~12日)

はしかにかからないためには、予防が第一です。1才過ぎたら、早目に予防接種を受けましょう。

まず**予防**が
一番

